

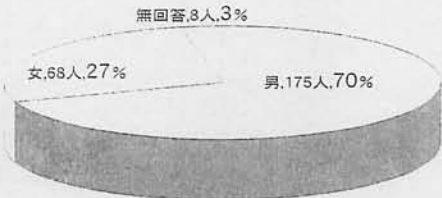
アンケート結果報告

シンポジウムに参加していただいた皆さんに、アンケート調査を実施しました。その結果は次のとおりです。

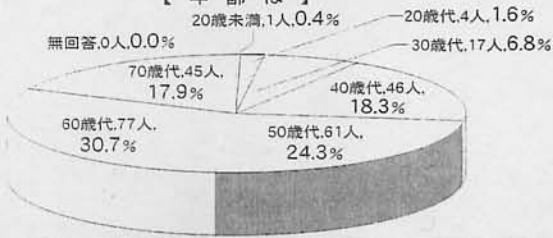
■ 対象者=385人、回収数=251人、回収率=65.2%

問1. あなたご自身についておたずねいたします。

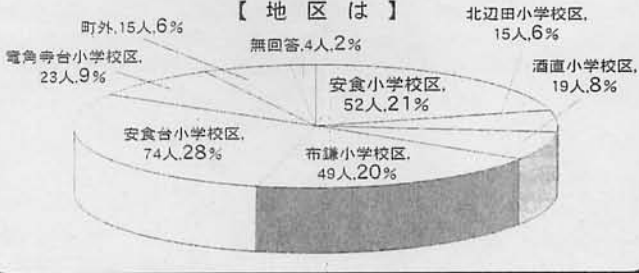
【性別は】



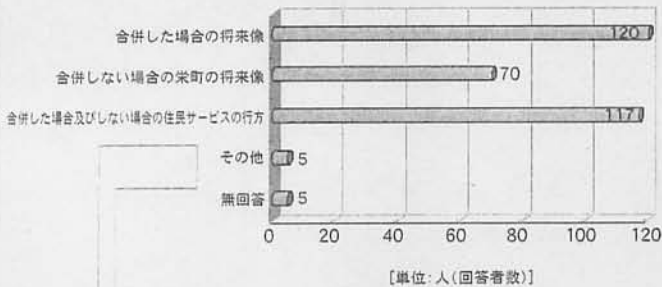
【年齢は】



【地区は】



問3. あなたは、今後の合併を考えるうえで、どのような情報を必要としますか。(複数回答あり)

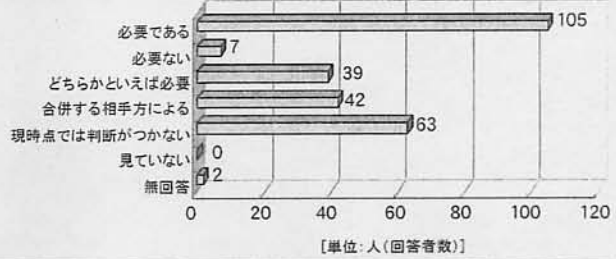


その他意見の5件はこちらです。

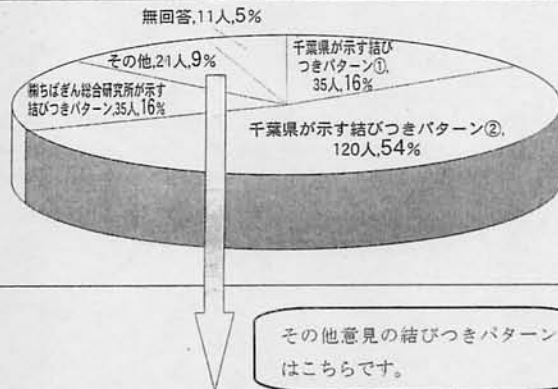
- 合併した場合の仕事の内容 (30歳・男性)
- 関連する情報はすべて公開すべきである (70歳・男性)
- 合併しない場合の財政の中身(収支) (50歳・男性)
- 栄町の自立は可能なのか (60歳・男性)
- 町民一人あたりの工業製品及び農業(農産物)製品の生産(量)力 (60歳・男性)

ご協力ありがとうございました

問2. あなたは、町からの広報「市町村合併特集号」を通じた情報で、現時点において栄町にとって合併は必要と思いますか。(複数回答あり)



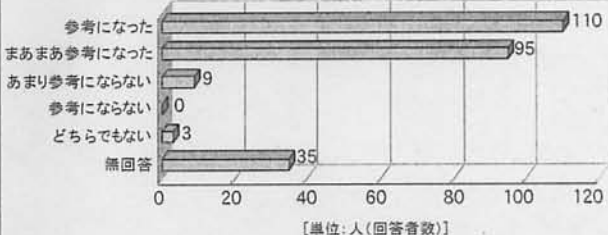
問4. 問2でア・ウ・エと答えた方におたずねします。栄町が合併するとしたら、どの結びつきパターンが良いと思いますか。(複数回答あり)



その他意見の結びつきパターンはこちらです。

- ① 印旛都市11市町村 (5件)
- ② 印旛支庁を中心としてのいんば市の実現 (1件)
- ③ 成田市、富里市、芝山町 (1件)
- ④ 成田市、富里市、本埜村、印旛村、下総町、芝山町、大栄町 (1件)
- ⑤ 本埜村、印旛村 (1件)
- ⑥ 成田市 (1件)
- ⑦ 成田市、印西市 (1件)
- ⑧ 成田市又は佐倉市を中心とした大規模な合併 (1件)
- ⑨ 安食が成田市・布鎌が印西市 (1件)
- ⑩ 四街道を除く印旛都市10市町村 (2件)
- ⑪ 井町、富里市、芝山町、大栄町、下総町、神崎町 (1件)
- ⑫ 四街道市、白井市を除く印旛都市9市町村 (1件)
- ⑬ 印旛都市を中心とした県作成資料中北部での合併 (1件)
- ⑭ 印西も成田も含めた大型合併 (1件)
- ⑮ 成田市、富里市 (2件)

問5. 本日のシンポジウムについておたずねします。(複数回答あり)



市町村合併に関する懇談会

- 地区連絡協議会主催による、「学区別懇談会」が11月3日をもって全小学校区〔6地区〕が終了しました。6回にわたる懇談会に参加いただいた方は204名の方々です。
- 町の審議会等の委員などに携っていただいております皆さんに対する「市町村合併に関する懇談会」が、12月6日をもって終了しました。3回にわたる懇談会に参加いただいた方は51名の方々です。

* 今後につきましては、各地域の協議会等の共通認識が示された時点で、町主催による懇談会を開催する予定でございます。実施期日等につきましては、特集号等を通じお知らせいたしますので、参加をお願いいたします。

* 各懇談会における主な内容は、「一問一答」のとおりです。

懇談会：一問一答

Q. いつまでに結論を出す必要があるのか？

A. 特例法の期限はH17.3です。その時点までには判断する必要があります。そのために協議会の中で十分な議論をすることです。また、特例法の期限が過ぎても合併することができます。この場合特例的支援は受けられません。

Q. 印旛郡市での合併は考えられるか？

A. 公式の場ではでていません。仮に特例法の期限を考えた場合、11市町村の枠組みの中では検討できないのではないかと考えます。期限を考えず意識が高まれば考えられないとは言い切れません。

Q. なぜ今、合併が盛り上がったか？

A. 一定の支援を受けられる特例法の期限があるからだと考えます。また、国の慢性的な財源不足が根底にあって、盛り上げているというようにも感じられます。合併による効率化を推進し支出を抑える効果が図れるということだと思います。

Q. 本当に効率化になるか、独自でもできるのではないかな？

A. 最終的には特別職や議員、職員が削減でき、効率化は図れると思います。ただ、それが利便性向上につながるかは別です。また、独自で行政改革等により効率化を図っています。合併をしても同じですが、効率化を図っても、需要の顕著な増加によってサービスの維持向上を図るのは困難です。

Q. 今示されている2つのパターンについて、町ではどちらを考えているか？

A. 現時点では判断できません。判断するために双方の地域で協議会を設置し議論していくものです。その結果を皆さんにお知らせし、ともに判断していきたいと考えています。

Q. 栄町の単独も視野に入れているか？

A. 合併しないといった選択肢もあると考えています。

Q. 行政サービスの低下の懸念は？

A. 今の役場のシステムが全て残ることはないと思われます。今の役場が支所になるか出張所になり、役場の業務の一部がのこることになります。

少なくとも職員数は相当減ることになると思いますので、今町で実施している全てのサービスができるとは言い切れません。

Q. 公共料金などはどうなるか？

A. 一般的には高サービス・低負担といわれていますが、全てをその水準に合わせることはできないと思います。仮に合併当初はそのように設定したとしても、財政が苦しくなれば変えざるを得ないと思います。

Q. なぜ今のパターンが示されているか？

A. 見方としては千葉ニュータウン地域は、ゴミ・水道・消防など、比較的広域の事務組合等の結びつきが強く、成田空港圏地域は、都市計画の区域が成田市・富里市・栄町で同一です。そのような背景でパターンが示されたと考えられます。

◆編集後記◆

今回は、千葉ニュータウン地域・成田空港圏地域で、それぞれ「任意合併協議会」等が設置されましたので、そのお知らせと、先般開催されました「市町村合併をともに考えるシンポジウム2002 in 栄町」のパネルディスカッションの状況をお知らせしました。

今後は、現在協議を進めております協議会での検討結果について、関係市町村の共通認識としてお知らせすることを考えています。

お聞きになりたいことやご意見などがありましたら、企画政策室までお寄せください。

電話番号＝0476(95)1111 [内線325]

ご意見おまちしています

